



小島友実の あの馬の STORY

スペラーレ



2019年12月7日・阪神競馬場パドックにて

和じて初めて迎えられた出走、これがお過ぎたことがあります。オリンピックイヤーでもある今年は話題が広がる年になりました。そんな中でも自分がすべき仕事をしっかりと皆様のお役に立てるような情報をお届けできたらと思っております。今年も少しでも頑張ります。

さて、かつてケンコートマト所属し活躍したジャガールを覚えてる方は多いと思いま。2006年の東京ダーティー600メートルの新馬戦をロードで勝利。生涯成績は3勝でしたが、数字以上のポテンシャルを感じさせた素質馬でしたよね。そのジャガールの番仔になれのが今回のお手役、スペラーレです。おまほは管理する吉村圭司調教師に初めての馬を見た時の印象から振り返りて語りました。

「クロフネ産駒だけは恵まれた馬体で、骨格がしっかりしていましたね。グリーンファームさんの馬を預かりせて頂くのは今回が初めて。良い馬を任せて頂いたなと嬉しく感じました」

育成が順調に進んだペガノーラ。2019年1月29日、阪神ダート600メートルトライ・18着でした。

「調教の動きから出走でも十分な感じがあったので、初戦は出走試験のみなる事になりました。まだ、ある程度時計がかかる方がいいと想つたので、あえて最終週のレースを選択したんです。レースではスタートが一息も好位に伸びる脚を見せてくれました。4コーナーでは上位に来れそうな手応えに見えたのですが、直線で失速してしまいました。能力はあるものの、全体的に力がいる感じがしました。

吉村師は、「初めて戦田の内容を評価してしまったが、中1週で戦田へ向かった事もあり、レース後はグリーンファーム不在でしたが、担当する河野航持ち乗つ調教助手に普段の様子などを伺いました」。

「パドックで落ちついで歩かれてる様子から大人しくて扱いやすい馬で、一つアームある馬を預かりせて頂くのは今回が初めて。良い馬を任せて頂いたなと嬉しく感じました」

活躍したジャガールを覚えてる方は多いと思いま。2006年の東京ダーティー600メートルの新馬戦をロードで勝利。生涯成績は3勝でしたが、数字以上のポテンシャルを感じさせた素質馬でしたよね。そのジャガールの番仔になれのが今回のお手役、スペラーレです。おまほは管理する吉村圭司調教師に初めての馬を見た時の印象から振り返りて語りました。

「クロフネ産駒だけは恵まれた馬体で、骨格がしっかりしていましたね。グリーンファームさんの馬を預かりせて頂くのは今回が初めて。良い馬を任せて頂いたなと嬉しく感じました」

育成が順調に進んだペガノーラ。2019年1月29日、阪神ダート600メートルトライ・18着でした。

「調教の動きから出走でも十分な感じがあったので、初戦は出走試験のみなる事になりました。まだ、ある程度時計がかかる方がいいと想つたので、あえて最終週のレースを選択したんです。レースではスタートが一息も好位に伸びる脚を見せてくれました。4コーナーでは上位に来れそうな手応えに見えたのですが、直線で失速してしまいました。能力はあるものの、全体的に力がいる感じがしました。

吉村師は、「初めて戦田の内容を評価してしまったが、中1週で戦田へ向かった事もあり、レース後はグリーンファーム不在でしたが、担当する河野航持ち乗つ調教助手に普段の様子などを伺いました」。

「パドックで落ちついで歩かれてる様子から大人しくて扱いやすい馬で、一つアームある馬を預かりせて頂くのは今回が初めて。良い馬を任せて頂いたなと嬉しく感じました」

吉村師は、「初めて戦田の内容を評価してしまったが、中1週で戦田へ向かった事もあり、レース後はグリーンファーム不在でしたが、担当する河野航持ち乗つ調教助手に普段の様子などを伺いました」。

(取材・2019年11月5日・12月9日)

profile

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（王婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。